

平成 22 年度

# 環境家計簿データ分析

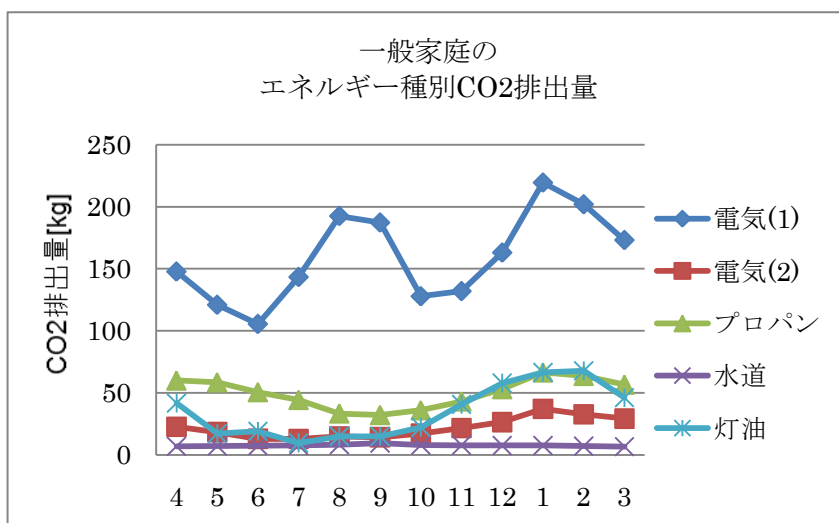
にいはま環境市民会議

エネルギー一部会

## 平成 22 年度環境家計簿分析結果

### ○一般家庭(オール電化でない家庭) (25 戸)の月別 CO2 排出量

エネルギー種類別月ごとの CO2 排出量平均値を図.1 に示す。夏期及び冬季にはエアコン等の使用による電力消費が多くなり、冬季の灯油使用量が増加している。また、月平均 CO2 排出量は 266.0[kg]である。

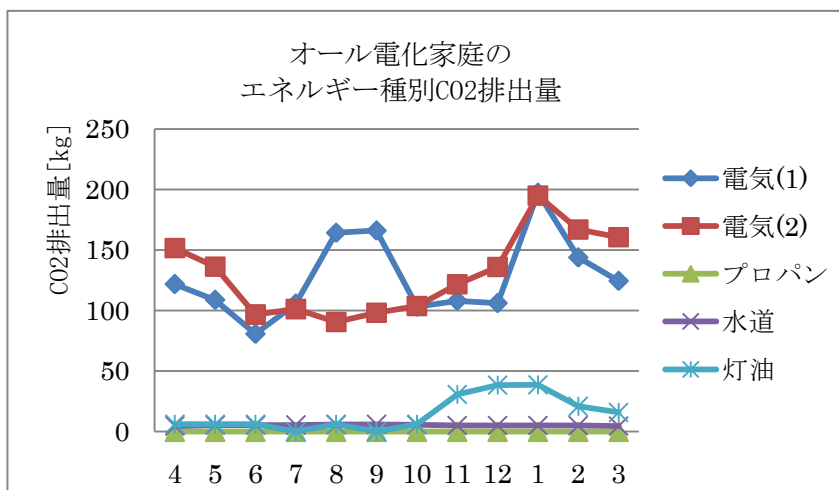


### ○オール電化家庭(12 戸)の月別 CO2 排出量

エネルギー別月ごとの CO2 排出量は図.2 のようになる。電気(1)(従量電灯)の使用量は若干少なく、当然ながら電気(2)(深夜電力)の使用量が著しく増加している。図中にプロパンガスが表示されているが、使用量は零である。

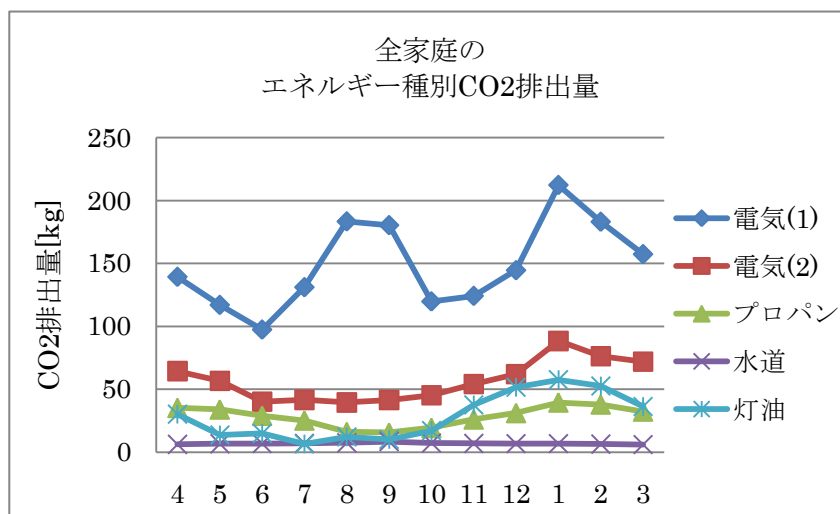
月平均 CO2 排出量は 277.5 [kg]である。

両者を比較すると、オール電化家庭の見かけの CO2 排出量がやや多いように見受けられるが、深夜電力は火力発電の負担が少なく、原子力発電などの負担割合が多いことを考慮すれば、排出係数が小さくなり、CO2 排出量は少ない傾向となる。深夜電力の CO2 排出係数が確定されない限り、両者の比較は論じ難い。(平成 21 年度報告書参照)



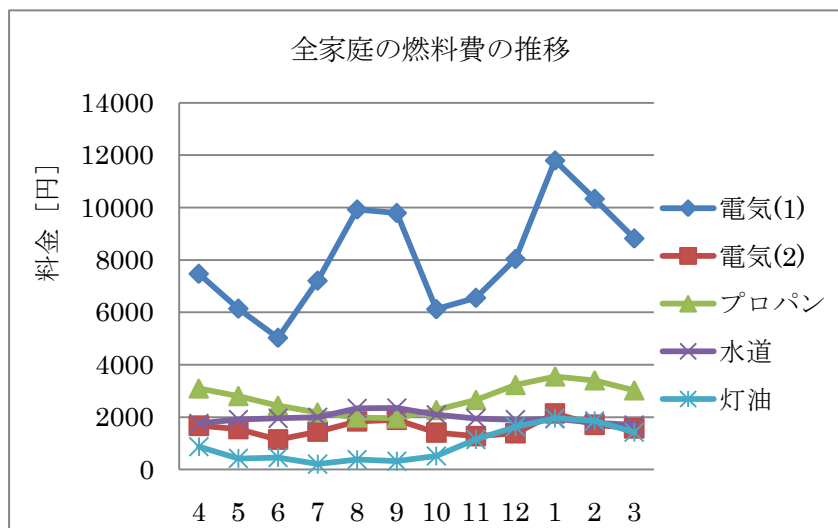
## ○全家庭(37戸)の月別CO2排出量

22年度の全モニター一家庭37戸の平均CO2排出量は図.3のようになる。  
月平均CO2排出量は269.7[kg]である。



## ○全家庭の燃料費の推移

環境家計簿の料金欄に、殆どのモニターが料金を記入されているので、料金の集計を行い、家庭平均値を算出した。その結果を図.4に示す。光熱費については、電気(1)(従量電灯)料金が占める割合が大きく、夏期及び冬季の冷房、暖房の使用により料金が増加して



いる。冬季の灯油の使用は当然ながら、プロパンガスも暖房に使用されている模様である。また当然のことであるが、深夜電力は使用量に対して従量電灯料金より安価であることが分かる。

## ○平成 21 年度のモニターとの比較

図.5 に平成 21 年度のモニター家庭(115 戸)の平均 CO2 排出量を示す。  
1 家庭平均月当り CO2 排出量は 272.8[kg]である。  
平成 22 年度のモニター家庭(37 戸)の排出量 269.8[kg]と比較して、似通った値であると言える。

